

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-5-1 雇用・就業の促進と人材の確保
---------	---------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 田中 麻里	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	高齢者の雇用・就業促進事業		
目的	(1) 対象	＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞中高年齢者 ＜シルバー人材センター連合会＞高齢者	
	(2) 意図	雇用就業機会の拡大と雇用の安定を図る	
事業概要	全国に先駆けて人口の高齢化が進展している本県においては、高齢者の雇用・就業対策はとりわけ重要であり高齢者の就業支援及び雇用・就業機会の拡大を図るため必要な支援を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 就職者数	目標値		105.0	110.0	115.0	120.0	人
		取組目標値						
	式・定義 中高年齢者就職相談窓口利用者の就職者数	実績値	44.0	125.0				
		達成率	-	119.1	-	-	-	%
2	指標名 シルバー人材センターの会員数	目標値		5,500.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 シルバー人材センターの会員数	実績値	3,799.0	3,892.0				
		達成率	-	70.8	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	40,813	40,821
うち一般財源 (千円)	40,813	40,821

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
平成28年度は、求人開拓目標250人に対し実績674人、求職者への支援目標250人に対し実績436人、就職者数目標100名に対し実績125人。また、平成29年度においても、就職者数は4月～6月の3ヵ月間で年間の目標値の半数以上を達成する見込み。

＜シルバー人材センター連合会＞
平成28年度のシルバー人材センター事業の会員数 3,892人（平成27年度：3,891人）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
求人開拓目標、求職者支援目標、就職者目標のいずれも目標を上回る実績を上げた。

＜シルバー人材センター連合会＞
県内のシルバー人材センターの会員数は、3年連続の増加となった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
・平成28年度は、求人開拓及び求職者（被支援者）は大幅に目標値を上回った一方で、就職者数も目標を達成しているものの、その達成率は伸び悩んだ。
・鳥取県の実績から45歳未満の女性求職者への就労支援に対する潜在的ニーズが見込まれるが、対応できていない。（鳥取県の同種事業の登録者の約65%は女性である。）
＜シルバー人材センター連合会＞
シルバー人材センター連合会における会員数は、3年連続の増加となったが、微増でほぼ横ばいの状態となっている。

②困っている状況が発生している「原因」
＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
・企業側からの求人の職種と、被支援者の希望する職種におけるマッチングが困難。
・中高年齢者就職相談窓口（ミドル・シニア仕事センター）開設後1年半経過し、TVコマercialや被支援者による口コミ等で一定の効果があったもののまだ周知不足。女性の就労支援を打ち出していない。
＜シルバー人材センター連合会＞
・シルバー人材センターについての理解・周知が十分でない。また働く意欲のある高齢者の方の受け皿となるシルバー人材センターの未設置地域がある。

③原因を解消するための「課題」
＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
・企業側への求人開拓及びニーズの把握、被支援者との調整を図る等マッチングの強化。
・事業への理解・周知を促進するための取り組みが必要。マッチングの拡大に向けて求人・求職情報を更に収集・蓄積することが必要。また、女性活躍推進の観点から女性への就労支援も必要。
＜シルバー人材センター連合会＞
・シルバー人材センターへの理解・周知を促進するための取り組みが必要。
・未設置地域におけるシルバー人材センターの設置促進。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

＜中高年齢者就職相談・職業紹介事業＞
・「就職弱者」「若年層に比べ就職が困難な中高年齢者」の受け皿として、その就職支援を担うために、企業側への求人開拓及びニーズの把握、就職希望者に寄り添った対応によるマッチング等を強化し、就職者の増加を図る。また、様々な場を活用し事業の周知・啓発に努め、求人・求職情報を更に収集・蓄積するとともに、企業側、就職希望者への情報提供を行う。
・県内企業において女性活躍の取組が進んでいる中、女性活躍を後押しする観点から、女性のスキル・適性を踏まえたきめ細かな就労支援の体制の整備について検討する。

＜シルバー人材センター連合会＞
・地域イベントでのPR、ホームページの活用等を通じた事業の周知・啓発を積極的に取り組む。
・シルバー人材センターの未設置地域の各市町担当課及び関係団体への情報提供等の設置促進の支援を行う。
・ハローワークとの連携による新規会員確保等。